

高内"HARU"春彦が試す

# ギブソン箱ギターの魅力

@G'CLUB TOKYO

Gibson Archtop Guitar

取材：布施雄一郎 機材解説：栗澤博幸 撮影：桧川泰治

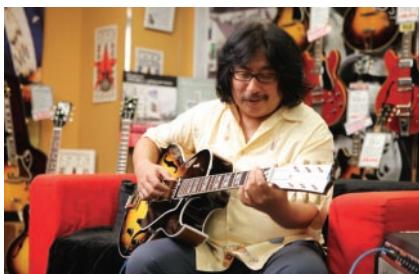
すべてのジャズ・ギタリストの憧れであり、ジャズ・ギターの歴史そのものもある、ギブソン・アーチトップ・ギター。今回、ギブソン・ギター専門ショップ「G'CLUB TOKYO」のジャズ・ギター専門フロアを訪ね、王道モデルのニュー・ギターを、ギタリスト高内"HARU"春彦が試奏をした。



高内 "HARU" 春彦

Checker

プロフィール 80年に渡米。90年に初リーダー作『銀河宇宙オデッセイ』をリリース。ウェイン・ショーター(sax)、ジャコ・パストリアス(b)らと共に。その後自己のトリオを中心に活動中。ホームページ = <http://www.haru-jazz.com>



ES-175

ヴィンテージ・タイプの厚手のネックがとても弾きやすいギターです。ネックは薄い方が弾きやすいと思っている人も多いですが、実は厚い方が握りを使わずに押さえられるので疲れないんですよ。弦高を低くしたい場合も、うまく調整できるようにトップ板が調整されていて良い感じです。そして、この'57 classic ピックアップは、とても上品で素晴らしいですね。かつて、ES-175が“テケテケ”と鳴っていた時期もありましたが、ピックアップが進化したため、ES-175の魅力はそのままに、華やかさとまろやかさが感じられます。いくら生音が最高でも、アンプで鳴らすと“あれ?”と感じる楽器が多い中で、やはりギブソンはさすがだなと改めて思いましたし、進化も感じられます。まさにラミネート箱ギターの基準であるES-175は、アーリー・ジャズか

らコンテンポラリーまで、あらゆるジャズに対応できます。これからジャズ・ギターを始めようという方にもお薦めできる一生使えるギターだと思います。



Historic Collection 1959  
ES-335 Dot Reissue

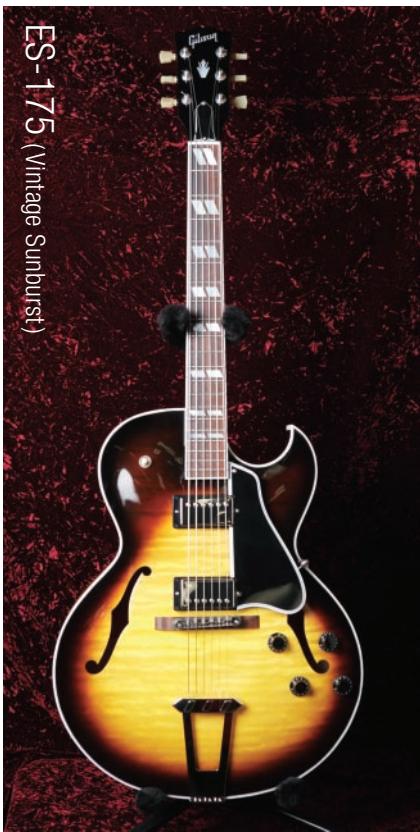
59年タイプのネックがとても弾きやすく、親指が使いやすいですね。ラッカーコーティングに入りました。ハイ・ポジションはフルアコよりも断然弾きやすいです。やはり、「57 classic ピックアップが素晴らしい、しかもサーキットにパンブルピー・タイプのオイル・コンデンサが使われているそうで、トーンを動かすとワウ・ペダルのように音色を多彩に変化させられるので、好みの音色を探しやすいと思います。これは、ES-175には出せないニュアンスですね。それでも、僕はES-335の

醍醐味はオープンのサウンドだと思っていて、逆アングル・ピッキングでは出せないような、ブルース系、モータウン系のプレイには最適でしょう。伝統も感じられつつ、今風な清潔さもあります。僕は新しい音が好きで、20年後の自分が今と同じ音を鳴らしていると考えたら、嫌になってしまうんです(笑)。ヴィンテージの良さと、新しい物の良さの両方を持ち合わせている点が素晴らしいと感じました。



ES-339

ES-335のボディがそのまま小型化されていて、見た目的にもとてもユニークですね。全体的に小さくなっているので、一見するとネックも縮まったように感じますが、スケールは同じなので演奏していて違和感はありません。テンションもほとんど変わりませんし、慣れてくれば、むしろこちらの方が弾きやす



定価：¥635,250(税込み)

合板のフルアコの代表として、1949年の登場から現在に至るまでその地位を保っている。いくどかスペック変更を受けてきたが、16インチのシャープ・カッタウェイのメイプルの合板ボディという基本は守られている。単板モデルとは異なる。合板モデルならではのサウンドを確立したという意味でその存在はとても大きい。

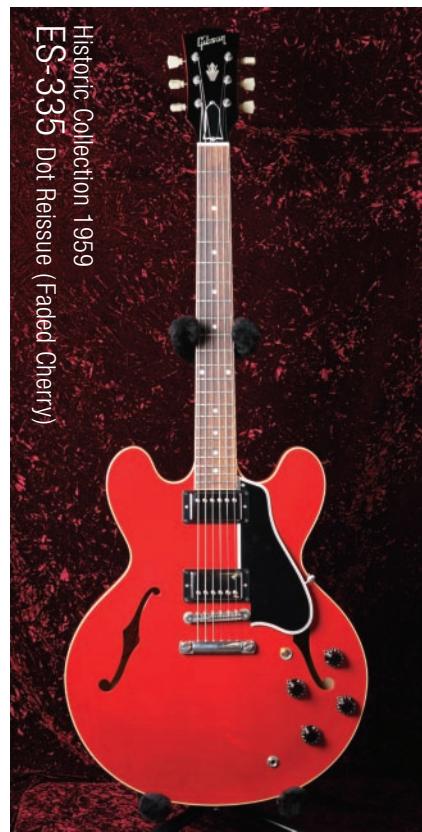
## Gibson Archtop

いかもしれません。若干、フレットが高い気はしますが、でもこの高さによって、弦高を低くしても握力を使わずに楽に弾けるというメリットはありますね。ES-335と比較すると、当然ES-335の方がボディが大きい分、音の響きに余裕と広い世界観を感じますが、でもES-339は小さいからと言って低域が不足するようなことはなく、箱ギターのテイストも充分に感じられます。ソリッド・ギターのような感覚で気軽に持ち運べるというのもいいですね。日本人にはこのサイズが合っているかもしれませんね。一度弾いてみるとなる人は多いと思います。



Historic Collection  
Byrdland Florentine

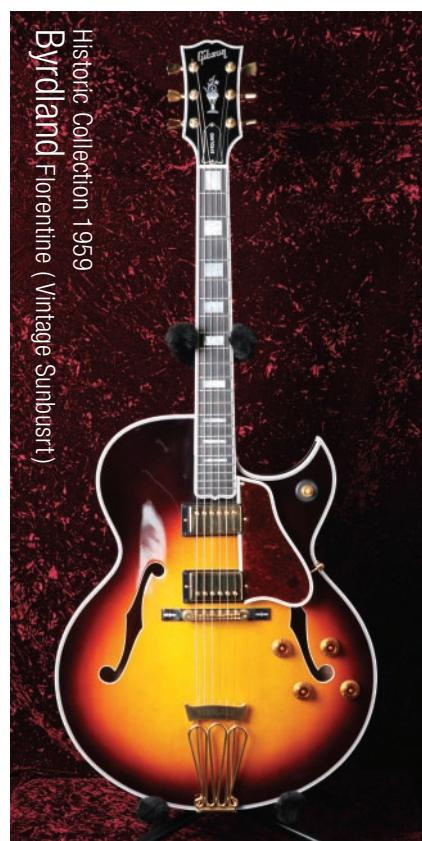
バードランドの特徴と言えば、やはり17インチのボディが生み出すディープなサウンド



定価：¥848,400(税込み)

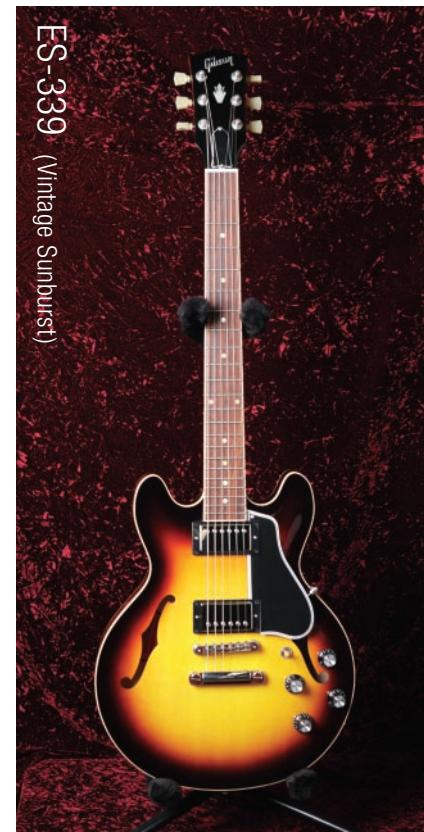
ヒストリック・コレクションは、大量生産の効率化／合理化がもたらす弊害に対する危機感から生まれた。オリジナル・モデルの特徴を可能な限り再現し、そのモデル本来の魅力を取り戻している。「ミッキーマウス」カッタウェイなどの外観的特徴もさることながら、ネック・ジョイントや当時のセンター・ブロックの形状の再現などの見えないところにもこだわっている。

## Guitar



定価：¥1,325,150(税込み)

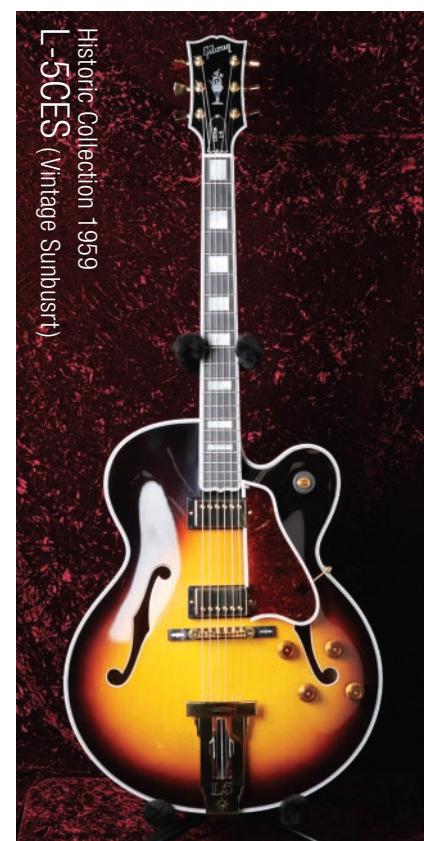
同じシン・ボディでもES-335とは異なり、完全なホロウ構造を持つ。オール単板でありながら薄いボディのフルアコというものは実はあまりなく、その意味でも特徴のある存在だ。ベネチアン・カッタウェイのものもあるが、今回試奏したフローレンティンの方のがシン・ボディと相まってこのモデルの特徴が生き、愛用者も多い。



定価：¥369,600(税込み)

ES-335のスマート・ボディ・モデルと位置づけることができるが、このES-339。姉妹モデルとしてCS-336という、マホガニーのバック材をくり抜いた、いわばセミ・ソリッドというべきものがあるが、ES-339はホロウ構造のボディにセンター・ブロックを挟み込んだセミ・ホロウ構造を踏襲している。

## Guitar



定価：¥1,529,850(税込み)

単板で17インチ・ボディでビルトイン・ピックアップ、こうした単板のフルアコ・モデルを代表するイメージを作り上げたと言つていいのがL-5CESだ。良質な材でていねいに削り出したボディ、美しいフィギュアド・メイプルのネックや華麗なインレイを持ち、ナッシュビルのカスタムショップで、当時の機材を使用して昔と変わらぬ手法で生み出されている。

# ギブソン箱ギターの魅力 @ G'CLUB TOKYO

とショート・スケール。このモデルはヴィンテージに比べるとやや薄型ですが、それでも充分にディープな中低域音を鳴らしてくれます。そういう意味では、バードランドとL-5、スーパー400は同じ方向性ですが、この上品な音色はバードランドならではですね。高級感を感じます。演奏していて、自分の耳で聴こえる音が素晴らしい、身体で鳴りを感じられるというのは、このクラスのギターでないと味わえないものです。セミ・アコースティックよりは厚めですが、フル・アコースティックとしては薄め、しかもオリジナルよりも軽量なので、プレイヤビリティ的にも、とても演奏しやすいと言えます。お世辞抜きでネックも良いですし、音程感も良くて、サスティンも充分あります。ピックアップは他のモデルにも搭載されている「57 Classic」ですが、このギターにマウントされると、まるで

「P.A.F.」かのように感じます。いつまでもずっと弾き続けたくなりますね。



Historic Collection  
L-5 CES

ヴィンテージの鳴りと雰囲気を充分に感じさせてくれながら、とてもピッチがいいですね。ヴィンテージのモデルは、フレットを取

り替てもオールド・ギブソン独特のピッチの甘さは変わりませんが、このL-5は今風の複雑な和音もくっきりと鳴らせるのがとてもいいですね。「ピッチが良くなったヴィンテージ」という表現がピッタリくると思います。ピックアップが良いので、アコースティック感も充分にあります。バードランドにも同じことが言えますが、こういったアコースティックのセンスを持っている楽器は、生で音を作っていますから、自分をジャズ・ギタリストに育てるには最適だと思います。しかも、箱の鳴りをアンプでも最高の状態で再現してくれます。そこがギブソンの素晴らしいところですね。エリック・ゲイルはスーパー400を使っていましたが、これに010の弦を張ると、彼のようなサウンドが楽しめると思います。新品でこれを買って、一緒に年を取っていきたいと思わせてくれる1本ですね。

## ギブソン・アーチトップ・ギターがじっくり選べる大人の店

世界最大級の  
ギブソン専門店

**G'CLUB** TOKYO  
*Fine Electric Guitar Shop*

今回試奏を行なった「G'CLUB TOKYO」は、レスポールをはじめ、約800本以上のギブソン・ギターの在庫を誇る世界最大級ギブソン専門店だ。特に3Fでは、ES-175が新作とヴィンテージ合わせて20本以上、ES-335は同じく60本以上が常にベスト・コンディションで並んでいる。ジャズ・ファンにはうれしい「フルアコ、セミアコ」の専門フロア。カスタムショップから、貴重なヴィンテージまで、広い店内に豊富に揃う。この専門フロアの魅力について、スタッフの上東裕嗣さんに話を聞いた。

当ショップの一番のセールス・ポイントは、やはり品揃えの豊富さです。ギブソン専門ショップということで、同じモデルでも、たくさんの中から1本1本じっくりと選んでいただけます。たとえば、ES-175にしてもサウンドはもちろん、木目の違いがありますが、数本の中からの消去法ではなく、たくさん取り揃えたES-175の中から気に入った木目を選んでいただけます。その中からじっくりと弾き比べたうえで、納得の1本を選んでいただける環境作りを心がけています。スペース的にもゆったりとしているので、何本もギターを並べてご覧いただき、試奏の際は店内のBGMを下げ、ギター本来のポテンシャルを確認していただき、愛器をお探しいただけます。

楽器初心者の方や、ずっとロックをやっていて、これからジャズ・ギターを始めてみたいという方でも、事前の試奏予約などは必要ありませんので、お気軽においでください

い。実際に、大学でジャズ研に入ったから「ジャズ・ギターを1本」という理由から、こちらにおいでになる学生さんも多くいらっしゃいます。もちろん、ジャズ・ギターを長年続けられているお客様にも満足いただける接客を心掛けています。ジャズを聴かれる方は、やはり音楽や楽器に強いこだわりをお持ちだと思います。当ショップは、単にギブソン専門というだけでなく、ジャズ・ギターの専門フロアです。私自身もジャズ・ギターをやっておりまして、一般的なギター・ショップのスタッフとは違った、よりジャズに特化した目線で細かなご相談にお応えいたします。

年に4回ほど、スタッフが現地アメリカのギブソン工場に赴き、買付けも行なうなど、こだわりのアーチトップを揃えております。今まで以上にジャズ・ギターを楽しんでいただけるよう、サポートさせていただきたいと思います。



G'CLUB TOKYO  
住所：東京都千代田区神田小川町3-8  
(駿河台下交差点)  
営業時間：11：00～20：00(年中無休)  
電話：03(3295)2800  
web : [www.kurosawagakki.com/](http://www.kurosawagakki.com/)  
mail : [g-club@kurosawagakki.com](mailto:g-club@kurosawagakki.com)



高内 "HARU" 春彦が、  
G'CLUB TOKYOで  
クリニック開催！



今回の企画で試奏を行なった高内 "HARU" 春彦が、G'CLUB TOKYOでクリニックを行なうことが決まった。スタンダードのデモ・プレイをはじめ、クリニックが間近で体感できる！

日時：10月15日(土)  
18：30～19：30  
場所：G'CLUB TOKYO  
料金：無料  
申し込み方法：G'CLUB TOKYO  
に電話で予約のこと